

SCHOOL DATA

〒297-0223 長生郡長柄町大津倉220
 TEL.0475-35-2509 FAX.0475-35-5474

■児童数/58人 ■教職員数/10人 ■周辺環境/森林,水田 (平成20年5月1日現在)



オオムラサキの里



トンボ・メダカ池

ビオトープの概要

- 場所/学校敷地内
- 面積/1,448㎡
- 設置者/学校
- 設置した年/2008年
- 直近の改修年/2007年
- 主な管理者/教職員



<コンセプト>

本校はなだらかな上総丘陵に囲まれ、その丘陵地を生かした水田や畑とそれを取り囲む雑木林が四季折々に豊かな自然をもたらしている。しかし、学区にある山間部の狭い水田は、農家の高齢化も影響し急速に放棄田が増え、周辺の雑木林も荒廃が進み、他の里山に見られるような生物多様性への悪影響が危惧されている。

子どもたちもこの豊かな自然環境に目を向けることは少なく、遊びや学びを通して身近な自然と直接ふれあう体験が不足している。そこで、裏山にオオムラサキの里と校庭にメダカ池を作り、直接体験から豊かな心と主体的な学び、自然と触れ合い、地域に愛着の持てる児童を育てたいと思いビオトープを整備してきた。

- (1) オオムラサキの里に至る階段(木道)の修理とトウキョウサンショウウオやニホンアカガエルなどを観察することができるミニ田んぼの造成。
- (2) 校庭のビオトープ(メダカ・トンボ池)に電動ポンプやろ過器を設置し、水が循環するような改修。



生息している生物

<メダカ・トンボ池>

動物:ニホンアカガエル、ニホンアマガエル、メダカ、ギンヤンマ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボ、イトトンボ等のヤゴ、ミズカマキリ、コオイムシ等
 <オオムラサキの里>

植物:エノキ、コナラ、クヌギ、キンラン、フユノハナワラビ、リンドウ、カントウカンアオイ、カントウタンポポ等

動物:シジウカラ、ジョウビタキ、シュレーゲルアオガエル、トウキョウサンショウウオ、ルリタテハ、アカタテハ、アゲハ等

今後生息させたい生物

オオムラサキドームで飼育しているオオムラサキに産卵させ、放蝶活動などを通じて、地域に生息していたオオムラサキの回復を目指したい。また、オオムラサキの里で生息しているトウキョウサンショウウオを定着させたい。



オオムラサキ学習会(地域との交流)



ミニ田んぼと森

ビオトープの活用方法

- ビオトープ観察会(自然観察会)やオオムラサキの観察会を年間複数回実施して、専門家を講師に呼び、保護者・地域への啓発活動を推進する。
- 校庭の観察池(メダカ・トンボ池)で、子どもたちは様々な生き物の生態を学ぶことができる。
- 田植えの直接体験だけでなく、水田をすみかとするたくさんの生き物の命を守ることが出来る。更に、観察や調査活動等を通して、物事を筋道立て、科学的に考える力が養われるとともに水田や里山の素晴らしさにも気づくことができる。

ビオトープの効果

- 児童への効果
 - 命と直接ふれあうことにより、やさしさや思いやり、生命に対する畏敬の念、感動する心が育つ。
 - 身近なところに豊かな自然があることに気づき、自分達の手で守ろうとする。
 - 地域に愛着を持ち、それを誇りに持てる児童が育つ。
 - 体験学習を通して、学ぶ意欲を高め、課題解決能力や表現力が育つ。
- 地域への効果
 - 地域の方をビオトープの観察会、オオムラサキの放蝶活動などに招くことにより、自分達が住んでいる自然の素晴らしさを再認識することができる。
 - 学校と地域が一体となり、「オオムラサキと長柄町の自然を守る会」を更に発展させることが出来る。
- その他、期待される効果
 - 本校は全校児童58名の小規模校であるため、多くの人と触れ合う機会が少ない。多くの方との交流を通して、子どもたちのコミュニケーション能力が育まれる。

保護者、地域との連携

保護者、地域(おやじの会、オオムラサキを守る会、地区社会福祉協議会、PTA等)
 ビオトープの観察会、オオムラサキの放蝶活動などへ招待。
 木道の整備、樹木の伐採などの活動、オオムラサキの繁殖や放蝶活動。

整備・活用・管理等の課題

裏山のオオムラサキの里はとても広く、子どもたちや教職員、PTAだけでは、十分に管理が行き届かないのが現状である。観察会や放蝶活動を通じて、地域の方の理解を一層深め、活用や管理にも協力してもらう必要がある。
 また、ビオトープの活用を各学年の教育課程に組み込み、有効に活用していく方法を考える必要がある。

今後の展望

ビオトープの整備をきっかけに、自然豊かな水上地区に生きる生物について調査し、わかったことを地域に発信していきたい。
 また、地域との連携を深め、管理の面だけでなく、子どもたちと一緒に地域の自然を守り、育てていくきっかけにしたい。

整備を担当した教員の感想

木道の整備はおやじの会やPTAの協力もあり、徐々に整備されつつある。木を一つ運ぶにも大変な作業を、気持ちよくやってくださり大変感謝している。ミニ田んぼは完成したが、田植えは来年から実施する。不耕起の田んぼと普通の田んぼ。稲の育ち具合やお米の味だけでなく、どちらの田に多くの生き物が住み着いているか。どんな種類の生き物がいるのか。それらがどの様な役割を果たしているのか。子どもたちに体験させたいことはたくさんある。



オオムラサキの観察